

25郡議第1112号

平成26年3月26日

特定非営利活動法人 郡山市聴力障害者協会

理事長 佐久間 孝 様

郡山市議会議長 高橋 隆夫



請願の審議結果について (通知)

平成26年3月5日付けで提出のありました請願については、平成26年郡山市議会3月定例会において審議の結果、下記のとおりとなりましたので、通知いたします。

記

- 1 件 名 請願第79号 「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書
- 2 議決年月日 平成26年3月24日
- 3 結 果 採 択



手話言語法制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使うろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考える。

よって、国においては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

早期に「手話言語法」を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月24日

郡山市議会

